

## お客様や地域住民の皆様の安全・安心のために 全国のはま寿司 594 店舗で AED を導入

株式会社はま寿司（代表取締役社長：南 哲史 本社：東京都港区）が展開する 100 円寿司チェーン「はま寿司」は、ショッピングセンター内の店舗などを除く全国のはま寿司 594 店舗に、2 月 21 日（土）に自動体外式除細動器（以下、AED）を導入したことをお知らせします。

はま寿司では店舗で発生した救急搬送のなかでも AED を必要としていた事案が複数あったことから、お客様をはじめとした地域住民の皆様や従業員の安全・安心に貢献することを目的に、この度オートショック AED<sup>※1</sup>を導入しました。



総務省が 2026 年 1 月 20 日（火）に発表した「令和 7 年版 救急・救助の現況」によると、2024 年に一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者は 2 万 7,769 名にのぼったと報告されています。その際、心肺蘇生と AED の使用により生存・社会復帰ができた傷病者は、1 か月後の生存者で 53.6%、うち 1 か月後の社会復帰者で 44.4%という数字が出ており、心肺蘇生だけを実施した場合よりも生存者・社会復帰者の割合が高かったと示されています。

今回の導入にあたり、はま寿司では約 600 名の店長を対象に救命救急に関する社内研修を実施しました。今後も救命救急に関する理解と意識の向上に努めてまいります。また、オートショック AED を設置している店舗は、はま寿司公式 HP の店舗情報よりご確認ください。

はま寿司は、今後も地域に根差した安全・安心な店舗づくりを進めてまいります。

※1 ショックボタンを有さず、AED が自動で判断し、電気ショックを流す AED のことをいいます。

※ ショッピングセンターなどのテナント型の店舗を除く 594 店舗が対象です。（2 月 26 日時点）

594 店舗には改装中の一部店舗を含みます。

以上